

青山コウヘイ

事務所ニュース No.6 2017年1月12日



新成人お祝いの訴え

希望を持てる社会に！

1月9日、小雨の降る中、大田区総合体育館で成人式が行われました。日本共産党大田区議団と民青同盟大田地区委員会は、式に参加するみなさんに、新成人お祝いの訴えを行いました。青山コウヘイ衆議院東京4区雇用と生活対策室長が参加しました。

青山コウヘイ東京4区 雇用と生活対策室長

今年新成人となった方から、「大学の奨学金を数百万円にのぼって返さなければならぬいから、ブラック企業でも、とにかくどこかに就職しなければ」というお話を伺いました。

しかし、ヨーロッパでは、8時間働けば当たり前前に暮らせませす。そして、返さなくていい奨学金があり、お金の心配なく学べます。

国の姿勢を変えれば、「しょうがない」と思っている、今の状況を変えていくことができます。若者が希望を持って暮らせる社会に変えるため、全力で頑張ります。抜く決意です。



青山コウヘイ プロフィール

日本共産党、衆議院東京第4区(大田区の中南部)雇用と生活対策室長。1991年(平成3年)生まれ。現在25才。静岡県沼津市出身。中央大学法学部卒業。全日本学生自治会総連合(全学連)書記局、首都圏学生9条の会ネットワーク事務局などで活動。

一部の人の利益のために、大多数の人たちが苦しめられる政治を終わらせ、日本国憲法を守り生かし、若者が希望を持って暮らせる社会へ変えるため、日々奮闘中。

元旦、池上本門寺前で、共産党大田区議団、かち都議らと訴える青山コウヘイ(左から2人目)



東京4区から青山コウヘイさんを国政へ

参議院議員・弁護士

山添 拓

青山コウヘイさんは、私の7年後輩。昨年7月の参院選では、若い世代の力で政治を動かそうと、ともに訴えました。

都内各大学の9条の会でつくる学生のイベント「Peace Night 9 (ピースナイトサイン)」。

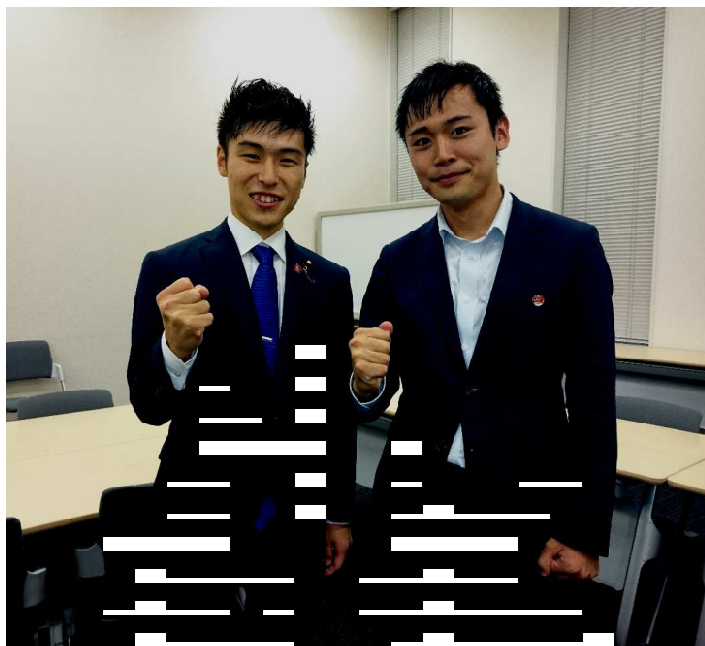
学生世代から憲法9条を発信しようという試み、私は2007年の第1回で実行委員を務めました。青山さんは2013年、一時途絶えていた

のを復活させて責任者に。自身が通う大学の運動だけでも大変ななか、全体の企画を考え滞りなく準備を進め、同時に全都の取り組みも励ます——仲間を大事にする青山さんだからこそやりきれたのだと思います。その取り組みは9条を大事にしたいと願う多くの学生の心に届き、特定秘密保護法や安保法制Ⅱ戦争法に反対する学生の運動にも通ずる、先駆的なものとなりました。

若い世代がいま直面する、大学の高い学費、借金でしかない奨学金、安すぎる最低賃金に不安定雇用、長時間労働などブラックな働き方——。いずれも自己責任では片付けられない、政治の姿勢の問題です。

裁判官をめざしたこともあるという青山さん。しかし、アメリカと大企業に従属する政治によっていたげられた人々の力になりたいと、いまの道を選んだ青山さんは、安倍政権の誰よりも憲法の意義を認識しています。

憲法施行70年の今年、憲法いかした政治への転換を、青山さんとともに国会で進めたい。



山添参議院議員の国会初質問（JAL不当解雇問題）の報告会の後で、左が山添議員（2016年10月20日）

《コウヘイ こらむcolumn》

昨年、インタビュー動画「どうして日本共産党に？」を公開しました。共産党にソ連のような怖いイメージもあったが、党の綱領を読み、ソ連のような自由を奪う社会は共産主義とは全く別物だったと言っていることがわかり安心したこと、なにより、声をかけてくれた大学の先輩たちが信頼できる人たちだったから、共産党へ入ろうと決めたことなどをお話しています。

視聴できる方は、動画共有サービス「YouTube」から、ぜひご覧ください。



インタビュー動画から

青山コウヘイの25年⑥



5歳の時、七五三のお祝いで（三嶋大社）

昂平（コウヘイ）の通った幼稚園では、年中組から週一度、サッカー教室がありました。少

しでも運動ができる子になって欲しいという親の思いもあって入会し、サッカーを始めました。

七五三のお祝いは5歳の時に、三嶋大社にお参りに行きました。愛知のおじいちゃんおばあちゃんにも来てもらいお祝いをしました。（母）